

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズアドベンチャー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月26日		～ 2026年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児さん、保護者の方が安心して、楽しく通所していただいている。	・活動が毎回その子の課題に合わせて変化させていったり、個別療育なので本児の様子に合わせた支援の展開が行える。	・利用児さん、保護者の方との信頼関係を大切にしながら、丁寧な接遇、支援についてより研鑽を重ねる。
2	個別療育なので、活動が毎回同じものにならないように、都度スタッフが検討している。(課題などは共通認識を行っている。)	・上記同様、都度児童に合わせた支援の提供が行えている。	・色々な活動方法を学べるように多職種で連携に努める。 ・職員間でのコミュニケーションを大切に、支援内容等共有しながらチームでの取り組みを意識する。
3	個別療育なので、児童への特定の個別の課題に対して取り組みやすさがある。	・個別療育での児童の課題を共通認識しながら多職種でアプローチを行える。	・児童さん、保護者の方のニーズの確認を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方同士の交流の機会やペアトレなどの機会を用意できていない。	・事業所で実施が難しかった場合にも情報の共有に務めてきていたが、保護者の方にしっかり伝わっていない。	・事業所内の刑事のみでなく、SNSなども利用しながら研修会の案内など、情報共有の方法を再検討していく。
2	地域との交流は取り組める事もあるが、児童クラブなど地域の児童との交流は実施できていない。	・個別療育の時間での交流が時間的に難しさがある。	・交流の機会に関して、方法を検討していく。
3	事業所での避難訓練等は実施を行っているが、保護者の方へ実施している事を把握してもらえるように努める。	・周知の方法を再検討する必要がある。	・周知方法が現在まではSNSのみであったが、掲示したりなどいろんな方へ確認していただけるように、周知方法を検討していく。